

文学

三鷹

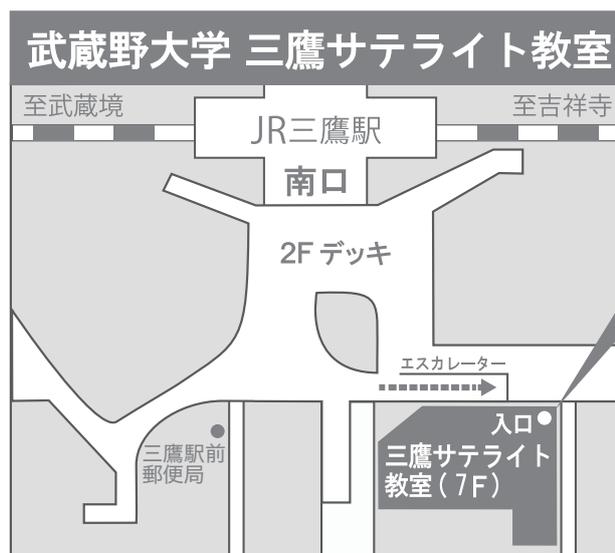
0401031

『源氏物語』を読む

— 幻卷(続き)・雲隠巻について —

受講料 (振込額)	8,000円				
必携テキスト	『新潮日本古典集成 源氏物語六(新装版)』新潮社 2,640円				
講座概要	曜日	月曜日		日程 7月25日 8月8・29日 9月12日	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全4回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学名誉教授 松村 武夫 (まつむら たけお)				
	1940年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。武蔵野女子大学短期大学部長、武蔵野大学文学部長、大学院研究科長をへて、現在、本学名誉教授。平安時代末期の文学(和歌文学、歴史物語など)を研究領域とし、主な著書に『校注水鏡』『水鏡全注釈』『実用国語辞典』等がある。				
内容	紫上を亡くし孤独となった光源氏は、四季折々ごとに故人を追慕し愛惜の心を深め、親しい人々と会っては故人の思い出を重ねていきます。歳末近く、出家を前にした光源氏は紫上の文を焼きます。御仏名には盛大な仏名会を催し、法会に参集した人々の前に、昔の輝きにまさるこの世のものとは思われぬ美しい姿を見せました。これが光源氏の最後の姿でした。大晦日には、童姿の匂宮を愛惜し、今の感慨を辞世の歌として、次のように詠みました。 もの思ふと過ぐる月日も知らぬまに年もわが世もけふや尽きぬる				
	① 7月25日：歳末、出家の準備、紫上の文を焼く。 ② 8月8日：御仏名に導師と和歌の贈答。大晦日の感慨(辞世の一首) ③ 8月29日：雲隠巻について ④ 9月12日：匂兵部卿巻、紅梅巻、竹河巻について				

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。